



竜北通信

甲斐市立竜王北学校
学校だより
発行 校長 小林 大
平成30年度第5号
2018.9.6

2学期が始まりました

8月22日から2学期が始まりました。始業式では、生徒たちが元気そうな笑顔で楽しそうにしている様子を見て、また学校全体に活気が戻ってきたなあとうれしく感じました。

私は、久しぶりに全校生徒の前に立って以下のような話をさせていただきました。

私が教員になってすぐの頃、先輩の先生から教えていただいて印象に残っている言葉があります。それは「ぶるなかれ、らしくあれ」という言葉です。

皆さんは、時としてカッコよく見られたいと思って、知らないのに思わず「知ったかぶる」のような言動をしてしまうことはありませんか。また、人からの頼みごとなどでも、できそうもないことを無理して引き受けてしまっ後で後悔するなんてことはありませんか。無理につくった自分だと、いつかエネルギーが切れてしまいます。そうならないためにも、「自分らしくある」ことは大切だと思います。

「らしくあれ」というのは、知らないことは知らない謙虚な姿で物事に臨んでいくこと、自分のできる範囲で頑張っていくことだと思います。だからと言って、等身大の自分でい続けることがいい、ということでもありません。人は成長していく過程で、多少背伸びをしたり、今の自分の限界を超えて挑戦していったりする必要があります。無理に大きく見せようとするとう失敗してしましますが、自分ができる範囲で大きく見せようとしていれば、その姿が自然になってきます。全体が100であれば、1でも2でもいいから成長した姿を演じ続ける。そうすることで、自分らしくい続けながら成長できると思います。

私も時として教師としてよく見られたいと思ってしまい、「知ったかぶる」などの「教師ぶる」ことがあります。でも、そのたびに「教師ぶるなかれ、教師らしくあれ」と自分に言い聞かせるようにしています。

夏休みの生活から、紫龍祭や新人戦、進路選択など大切なことがたくさんあるこの2学期を、中学生らしく、また自分らしく乗り切っていきましょう。大いなる成長を期待しています。



全校合唱指揮



1年生の決意表明



2年生の決意表明



3年生の決意表明



生徒会長から

いよいよ明日から紫龍祭！

第27回紫龍祭テーマ

Connection of love (愛のつながり)

いよいよ明日、9月7日(金)・8日(土)に第27回紫龍祭が行われます。生徒会本部が中心となって、生徒たちも夏休みから準備を進めてきました。学校では朝7:30から夕方6:00まで生徒たちの元気な声が響いています。この期間は、学校が1年の中で一番活気あふれる期間です。

紫龍祭では、7日(金)に文化部門が行われます。各学年の劇と吹奏楽部の発表がメインですが、全校制作のステージバックにも注目して下さい。8日(土)は体育部門です。リレーや玉入れ、ムカデ競走、長縄跳びなどの他、西関東大会出場を決めた吹奏楽部のマーチングや、伝統のソーラン節(全校と選抜隊)があります。見どころいっぱいこの2日間です。ぜひ子どもたちの頑張っている姿をご覧ください。



紫龍祭のポスターには15名の作品が最終審査に選出され、その中から最優秀賞に1年2組の大柴斗羽さんの作品が選ばれました。15点どの作品も素晴らしい仕上がりでした。ここに載せられない作品も紫龍祭当日には展示されていますので、ぜひご覧いただききたいと思います。

最優秀賞

校長賞

優秀賞



1-2 大柴 斗羽



3-1 萩原 一輝



3-3 浅井 啓汰



3-2 河上 春奈



2-2 米山 史琉